

2023年8月1日
日本事務器株式会社

DigiCert Class1 S/MIME 証明書 をご利用のお客様

【重要】DigiCert Class1 S/MIME 証明書における CABF S/MIME BR 対応について

平素は弊社サービスに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、下記のスケジュールにて、DigiCert Class1 S/MIME 証明書 について CABF (CA Browser Forum) の S/MIME BR (Baseline Requirement) 対応をメーカーであるデジサート・ジャパン合同会社にて実施いたします。

なお、本変更によって S/MIME の署名、検証、暗号化、復号についての挙動の変更はございません。

引き続きサービスの改善に努めてまいりますので、今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 影響を受けるサービス

CABF (CA Browser Forum) の S/MIME BR (Baseline Requirement) のルール適用によって、以下のサービスが影響を受けます。

DigiCert Class1 S/MIME 証明書

CABF S/MIME BR の詳細については以下をご参照ください。

デジサート・ジャパン合同会社 (日本語ブログ)

<https://www.digicert.com/jp/blog/ca-browser-forum-adopts-s-mime-baseline-requirements>

2. 変更予定日

2023年8月30日 (1:00am、日本時間)

3. 変更内容について

CABF S/MIME BR については、2023年9月1日までに対応を取る必要がございますが、デジサート・ジャパン合同会社にて2023年8月30日にその対応を実施いたします。今回の変更は、発行済み既存の証明書へ影響なく、その有効期限切れまで利用が可能です。

DigiCert Class1 S/MIME 証明書 においての変更の詳細は以下になります。

- 1) 各 S/MIME タイプにおける新しい Certificate Policy OID の適用
- 2) 証明書取得メールのリンクの有効な時間が、発行から24時間以内に変更、24時間を経過した場合には再送が必要となります。

3. 1. 各変更事項の詳細について

2023年8月30日の変更以降、DigiCert Class1 S/MIME 証明書では以下を予定しております。

1) 証明書のタイプをサポート

DigiCert Class1 S/MIME 証明書は以下の S/MIME BR に対応した証明書のタイプに移行いたします。

Mailbox-validated: 個人用証明書、メールアドレスのみを認証

2) 証明書タイプにおける新しい Certificate Policy OID の適用

当該日以降に発行する証明書の Certificate Policy の項目には、証明書タイプに対応して S/MIME BR で定義する OID を格納いたします。

Mailbox-validated OID:2.23.140.1.5.1.1 個人用証明書、メールアドレスのみを認証

3) mailbox-validated タイプでの、送信メールに記載の URL の有効期間の変更

当該日以降、mailbox-validated タイプの証明書発行にあたり、取得 URL が記載されたメールの送信時から 24 時間以内に証明書の取得を行っていただく必要がございます。

24 時間を経過した場合には再送が必要となります。

4. 参考資料

CABF の S/MIME BR (英語)

<https://cabforum.org/smime-br/>

5. お問い合わせ先

日本事務器株式会社

電子証明書担当

Email: seplus@njc.co.jp